

令和4年度

施設評価調書

**施設の名称……市営 多々戸
温水シャワー施設**

所管担当課……観光交流課

令和4年 7月

令和4年度

施設名（愛称名） 下田市営多々戸温水シャワー

番号 12

設置目的の達成度

1 計画(Plan)と実績(Do)

設置目的	市民の海浜利便の向上及び観光の振興を図る					
運営事業名	R2年値	R3年目標値	R3年実績値	対前年比	目標達成率	評価
利用者数	8,590	18,500	10,045	116.93	54.29	E
	設置目的に対する総合評価					E
目的達成度の評価基準	端的に表わす成果指標が無いため、利用者数の過去最大値を代替指標として用いる。					

2 現状分析(Check)

運営事業の意義と現状	設置目的に沿った利用がされている。 利用者数については減少傾向にある。
上記の原因	新型コロナウイルス感染症の影響が原因と考えられる。

3 次年度以降への改善点(Action)

具体的な改善方策	スイッチやコインメックの取替え等の細かな故障にすばやく対応し、全シャワー室を閉室しないようにする。		
R4年度運営事業と目標値	運営事業名	R4年度目標値	備考
	利用者数	18,500	前年度の目標値

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価

運営事業名	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
総合評価	E	E	E	E
利用者数 (目標値)	14,247	10,040	8,590	10,045
	18,500	18,500	18,500	18,500

令和4年度	施設名(愛称名)	下田市営多々戸温水シャワー	番号	12
-------	----------	---------------	----	----

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		R 2 年値	R 3 年目標値	R 3 年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用 者数等	8,590	18,500	10,045	116.93	54.29
	B 年間経費 (除く収入)	2,444,000	1,898,000	2,061,029	84.33	108.58
	B/A	284.52	102.59	205.17	72.11	—
②光熱水費		457,217	585,000	562,411	123.01	104.01
③委託料(賃金)		1,100,000	1,100,000	1,100,000	100.00	100.00
効率性指標の考え方等		光熱水費については、電気、ガス、水道の料金を節約することで効率性を計る。				

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	平成26年度より、直営から地元区への委託に変更となり、管理運営費が減少した。
----------------	--

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	光熱水費については、ガス代によるものが大きいため、給湯器の温度管理を徹底し、少しでも減らせるよう努力する。		
R 4 度効率性の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B/A	111.40	R 3 年間経費(2,061,029) 目標利用者数(18,500人)
	②光熱水費	457,000	前年度維持
	③委託料	1,100,000	前年度維持

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H30 年度	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度
①利用単位 当たり 経費	目標値	—	—	—	—
	A 実績値	14,247	10,040	8,590	10,045
	B 実績値	1,868,896	2,376,255	2,444,000	2,061,029
	B/A	131.18	236.68	284.52	205.17
	対前年比	92.2	180.4	120.21	72.11
	目標達成率	—	—	—	—
②光熱水費	目標値	575,000	583,000	585,000	585,000
	実績値	569,089	472,781	457,217	562,411
	対前年比	108.6	83.1	96.71	123.01
	目標達成率	101.04	123.31	127.51	104.01
③委託料(賃金)	目標値	1,080,000	1,090,000	1,090,000	1,100,000
	実績値	1,080,000	1,090,000	1,090,000	1,100,000
	対前年比	100.00	100.00	100.92	100.00
	目標達成率	100.00	100.00	99.09	100.00

令和4年度

施設名（愛称名）	下田市営多々戸温水シャワー
----------	---------------

番号	12
----	----

4 その他の指標

受益者負担 の適正性	区 分	説 明	単位	R元年度	R2年度	R3年度
	①有料部分の 年間経費	使用料等を徴収する部 分の年間経費	円	2,376,255	2,444,000	2,061,029
	②受益者負担 額	施設の本来の目的によ る使用料等の年間総額	円	2,008,505	1,718,100	2,019,000
	③受益者負担 比率	②÷①	%	84.52	70.30	97.96
	④補正受益者 負担額	減免者より正規の料金 を徴収したと仮定した 場合の受益者負担額	円	—	—	—
	⑤補正受益者 負担比率	④÷①	%	—	—	—
⑥適正化計画						

運営に掛か る税負担 (市民負担)	年度		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度（予算）
	人口（4月1日：人）		21,492	21,080	20,734	20,260
	人口1人あ たり（円/人）	運営経費（収入除く）	—	—	—	—
年間総経費		—	—	—	—	

令和4年度

施設名（愛称名） 下田市営多々戸温水シャワー

番号 12

利用者満足度調査

実施の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	調査の方法	アンケート		H 年度調査数	件
○貸館利用者向け						
1 調査結果						
設問	回答種類	H 年度回答数	H 年度回答数	H 年度回答数		
	1 2 3					
	1 2 3					
	1 2					
	1 2					
	1 2					
	1 2					
※今年度寄せられたクレーム等						
2 調査結果から読み取れること						
3 次年度以降への改善点						

施設修繕計画及び備品購入計画

破損年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考（修繕済年度等）
※今後想定される維持管理事項 施設の老朽化及び、設置場所の形状等の理由により、ドアサッシや外壁等の修繕がたびたび必要となる				

令和4年度

施設名（愛称名） 下田市営多々戸温水シャワー

番号 12

管理運営上のその他評価項目

当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性	将来にわたり、必要不可欠な施設と考えている。 設置目的に沿った利用がされている。
民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性	平成26年度より、吉佐美区への管理運営委託とした。
施設の管理運営と経費の妥当性	通常時は年間総経費に対してシャワー使用料収入の方が多く黒字であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少したため赤字となっている。 施設老朽化により、外壁・内壁など大規模な改修を行う必要が出てくる。
施設の性質や実費経費からみた 受益者負担の妥当性	今後、経費が増える場合には、使用料の変更や稼働時間の変更をする必要がある。
その他の管理運営上の課題	施設設置による公益性と利便性があるため、計画を立てての改修を行なう必要であると考えている。
【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等	

令和 年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項

令和4年度

施設名(愛称名) 下田市営多々戸温水シャワー

番号 12

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市営多々戸温水シャワー施設		2 担当課 担当係	観光交流課 観光施設係				
3 所在地	下田市吉佐美58番地の7		4 設置年月	昭和61年10月20日				
5 総合計画の 位置付け	Ⅲ 活力あるまちづくり		1 元気なまちづくり		3 観光			
	基本目標		自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。					
	基本目標を実現するための施策		項目 訪れやすいまちづくりの整備		内容 海水浴場の安全確保と健全化に努めます			
6 設置目的	市民の海浜利便の向上及び観光の振興を図る							
7 設置根拠	下田市営多々戸温水シャワー施設の設置及び管理に関する条例							
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 66㎡						
		木造平家建 (一部鉄筋コンクリート造) シャワー室6室 コインタイマー式(無人施設)						
	実施事業の概要	多々戸海岸の海水浴に隣接した温水シャワー施設を観光客及び地元住民が施設利用することに伴い施設衛生管理及び清掃をする。						
	料金体系	料金区分	1回 5分以内 200円					
		主な料金	種別	単位	昼	夜	昼夜	備考
	減免内容	<p>条例 第5条 市長は、公益上必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。</p> <p>規則 第4条 温水シャワーの使用料を減免することができる範囲は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 下田市が主催する行事をするとき。</p> <p>(2) 公共団体または公共的団体が使用するとき。</p> <p>(3) その他市長が特別の理由があると認めるとき。</p>						
利用料金制度	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無							
施設運営方法	<input type="checkbox"/> 直接運営							
	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →	指定管理者						
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 →	委託内容		清掃、料金回収等				
直接従事職員								
9 市内の 類似施設	下田市所有							
	民間所有							

令和4年度

施設名(愛称名) 下田市営多々戸温水シャワー

番号 12

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		令和3年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格1円 ・新設翌年度から償却 ・耐用年数 12年	
	土地取得費		土地残高				
	建物取得費	15,680,000円	建物減価償却後残高	1円			
	財源内訳						
	国・県支出金	3,900,000円					
	市債		市債残高	0円			
	一般財源	11,780,000円					
寄附金等							
物品(*万円以上)		物品減価償却後残高					
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度予算	
	収入	温水シャワー使用料	2,008,505円	1,718,100円	2,009,000円	2,019,000円	
	収入合計		2,850,212円	1,718,100円	2,009,000円	2,019,000円	
	支出	07節 賃金	0円	0円	0円	0円	
		11節 消耗品費	11,988円	0円	0円	11,000円	
		11節 燃料費	0円	0円	0円	0円	
		11節 光熱水費	472,781円	457,217円	562,411円	535,000円	
		11節 修繕料	774,140円	713,900円	369,270円	342,000円	
		12節 火災保険料等	27,346円	29,412円	29,348円	30,000円	
		13節 委託料	1,090,000円	1,100,000円	1,100,000円	1,100,000円	
		22節 補償補填費	0円	0円	0円	1,000円	
		支出合計		2,376,255円	2,444,000円	2,061,029円	2,019,000円
	減価償却費		—	—	—	—	
	市債利子		—	—	—	—	
職員人件費							
下田市負担年間総経費		367,750円	△725,900円	△52,029円	0円		
備考							
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度予算	R4年度予算	
		利用者数	市内	一人	一人	一人	一人
			市外	一人	一人	一人	一人
			合計	10,040人	8,590人	10,095人	10,095人
	参考:利用単位当たり市負担額		36.63円/人	△84.51円/人	△5.17円/人	17.03円/人	
	算出方法:11欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数						
	休館日	年中無休					
使用時間	午前8時から午後5時まで						

(参考資料)